

「今週の一枚」



ミノゴケ （タチヒダゴケ科）

街路樹や林縁木などやや乾いた樹皮上に普通に生育するコケ植物の一つ。雨上がりに撮影したので葉が水を吸って広がっていますが、普段は丸まって、乾燥に耐えています。楕円体の孢子ぶくろの長さが2ミリ、柄の長さが4ミリ位の大きさです。孢子体（蒴，さく）が被った帽子（カリプトラ）に毛が生えたようすが雨具のミノ（蓑）を連想させるのでこの名がつけましたが、本物の蓑だけでなく、ミノムシも見られなくなったので、名前の由来を説明してもわからないようです。（埴田）

（No.35 2002.1.28 掲載）